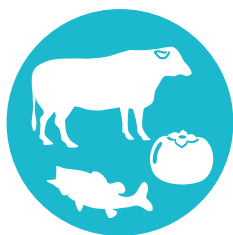


農・畜産・水産業の振興と農村活性化や、
林業・木材産業の振興と新たな森林環境管理体制の構築を進めます。



農・畜産・水産業の振興と 農村の活性化

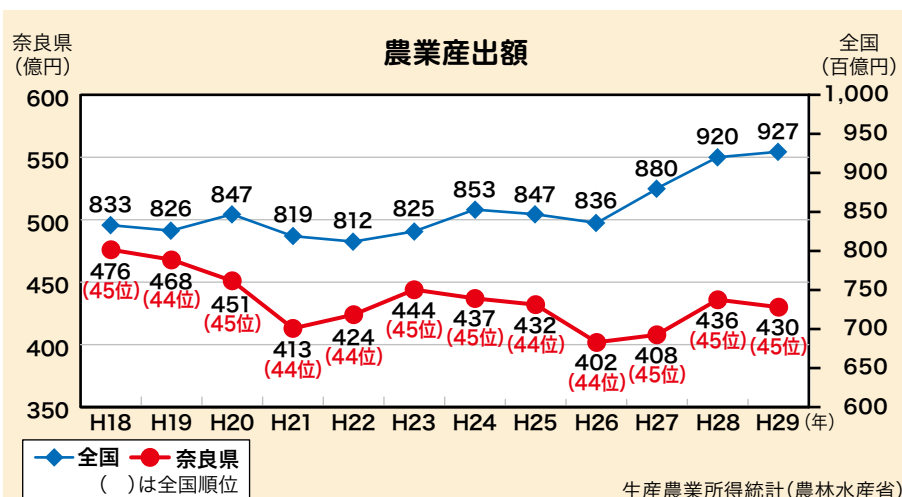
主担当部局：農林部



海外高級スーパーでのプロモーション(香港)

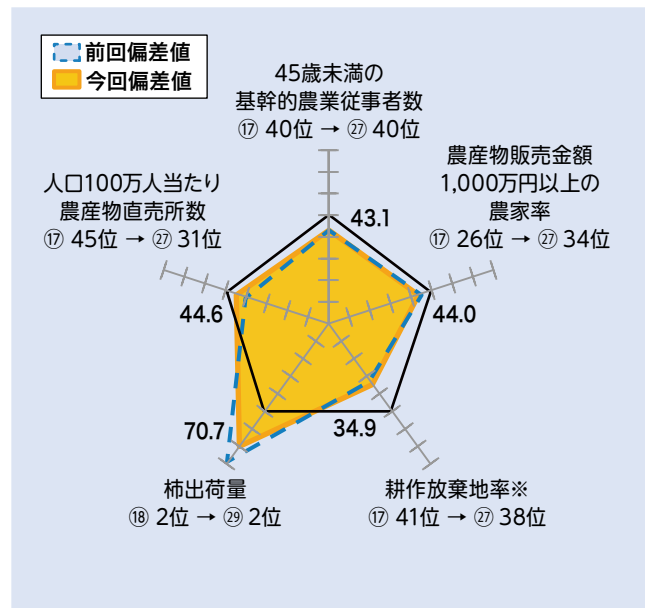
◆ 目指す姿

平成35(2023)年までに、**農業産出額を446億円**に増加させます。

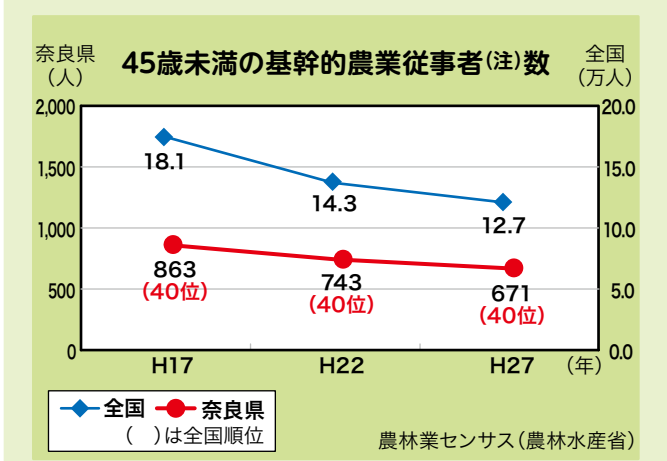


◆ 目指す姿を達成するための取組状況

《 現状 》

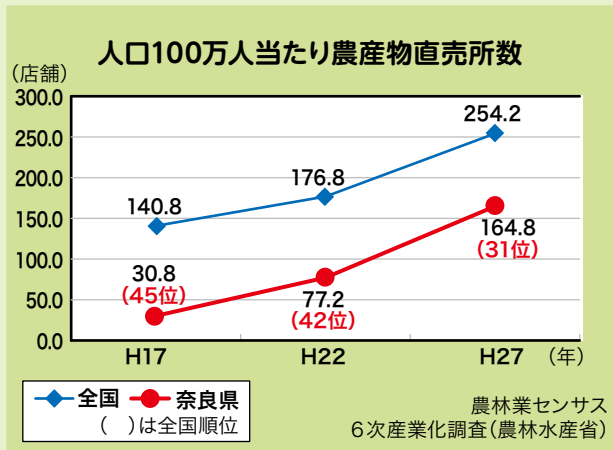


《 トレンド 》

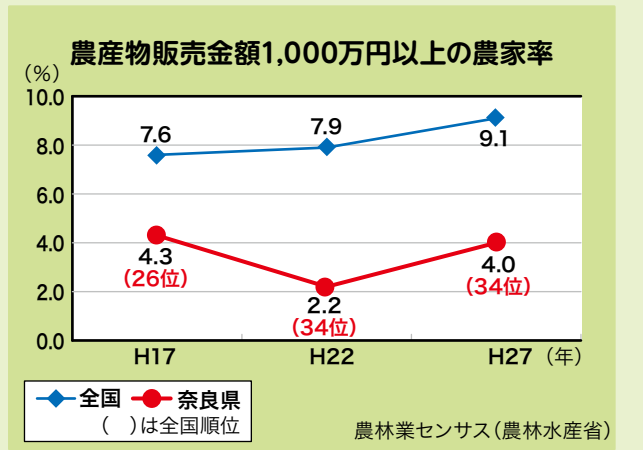


(注)基幹的農業従事者…
自営農業に主として従事した世帯員のうち、普段の状態が「主に農業」である者

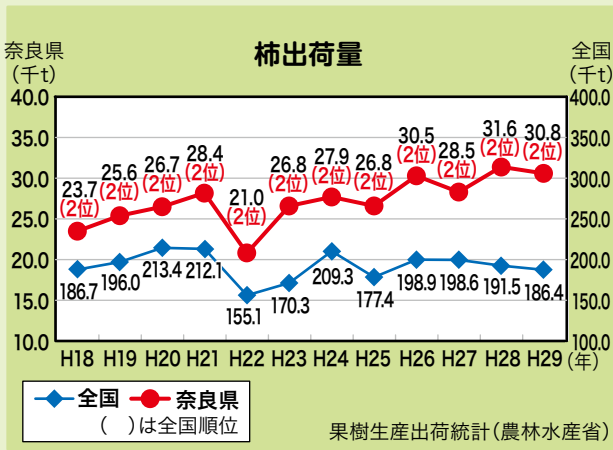
45歳未満の基幹的農業従事者数は、全国と同様に徐々に低下しています。



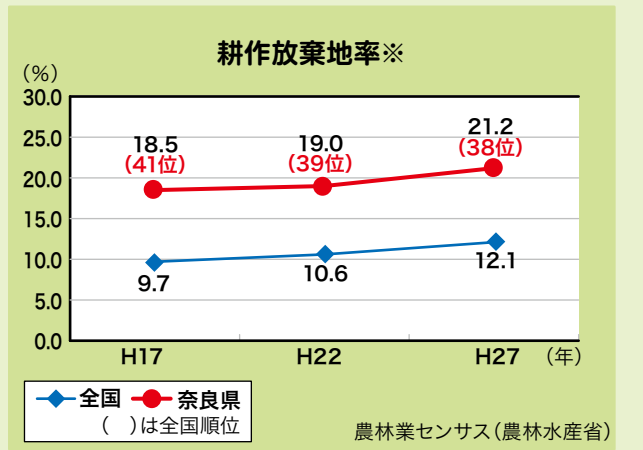
人口100万人当たり農産物直売所数は、全国と同様に増加しており、全国順位は上昇しています。



農産物販売金額1,000万円以上の農家率は、全国では増加していますが、奈良県ではほぼ横ばいとなっています。



新規就農者の確保や高品質生産の支援等の取組により、リーディング品目である柿の出荷量は、和歌山県に次いで全国2位を維持しています。



耕作放棄地率は、全国と比べて依然高い状況が続いています。

※は数値の低いものが上位になる指標です。



戦略 1

県産農産物の販路拡大と美味しい「食」づくりを推進します。

● 主担当課：農林部 マーケティング課

◆ 戦略目標

東京中央卸売市場における
奈良県産青果の取扱金額

10.7 億円
平成24(2012)年度



目標
15.0 億円
平成32(2020)年度

県内農産物直売所での売上額

42 億円
平成19(2007)年度



目標
95 億円
平成32(2020)年度

6次産業化の総合化事業計画認定件数

17 件
平成23(2011)年度



目標
60 件
平成32(2020)年度

◆ 主な取組

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
首都圏・海外等での 販路拡大		首都圏・海外でのPR実施	
多様な流通経路の形成		中央卸売市場再整備の推進	
		県内農産物直売所への支援	
奈良の美味しい「食」づくり とプロモーションの強化		地産地消の促進、6次産業化の推進・支援	



大田市場でのトップセールス(東京都)



奈良フードフェスティバルでの県産食材のPR(奈良市)



戦略 2

県産農・畜・水産物の生産力強化を図ります。

● 主担当課：農林部 農業水産振興課

◆ 戦略目標

リーディング品目の生産額
(柿、キク、イチゴ、茶、大和畜産ブランド、金魚)

126 億円
平成25(2013)年度



目標
136 億円
平成32(2020)年度

チャレンジ品目の生産額
(大和野菜、サクランボ、切り花ダリア、切り枝花木、
有機野菜、イチジク、アユ、アマゴ)

18 億円
平成25(2013)年度



目標
20 億円
平成32(2020)年度

**研究者1人当たりの産地で活用された
技術件数**

0.38 件/人
平成25(2013)年度



目標
0.55 件/人
平成34(2022)年度

◆ 主な取組

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
リーディング品目の 産地競争力強化	高品質安定生産技術の開発・普及、ブランド認証制度の推進、 GAP(注)取得支援、農業水利施設の計画的な維持修繕・更新		
チャレンジ品目等の 生産拡大・販路開拓	大和野菜等の生産拡大、収量・品質向上に向けた技術支援、 水産業の振興、耕畜連携		
農業研究開発センター による新技術・新品種の 開発	漢方・育種・加工・高品質・安定生産・省力化・環境保全における 現場で利用できる技術の開発		

(注)GAP…Good Agricultural Practice (農業生産工程管理)の略



キクの栽培現地検討会(平群町)



アマゴの取り上げ作業体験(川上村)



商品性の高いイチゴ品種の育成
(農業研究開発センター)

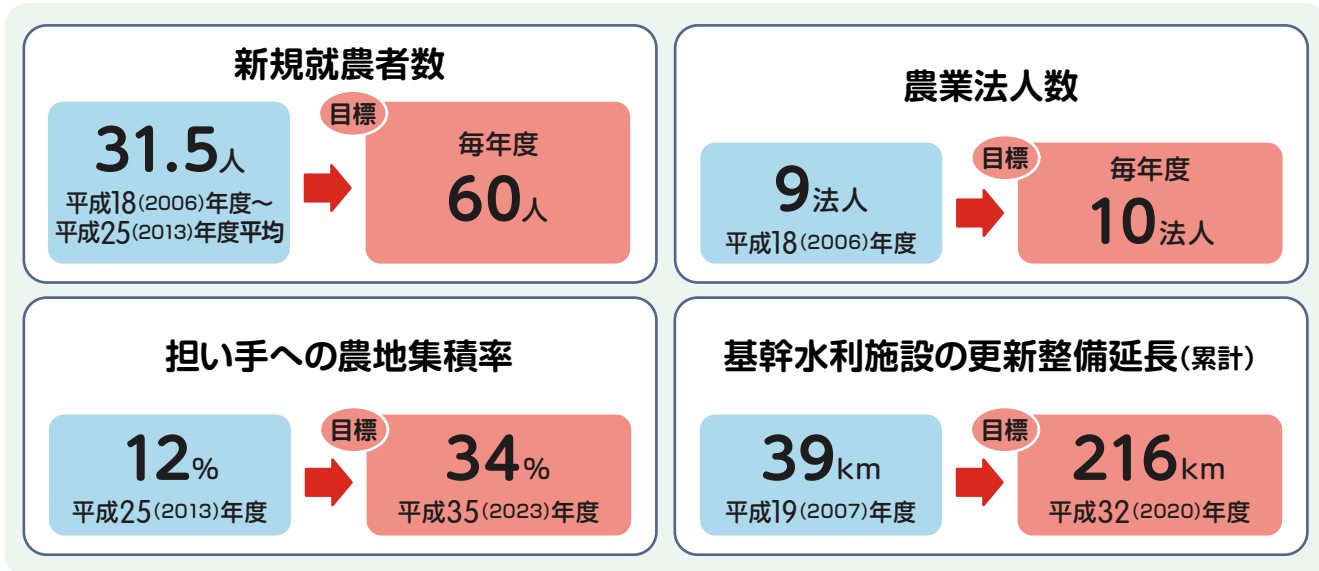


戦略3

意欲ある担い手の育成・確保と農地のマネジメントを推進します。

● 主担当課：農林部 担い手・農地マネジメント課

◆ 戦略目標



◆ 主な取組

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
新規就農者等への支援	就農相談、就農後の営農定着への支援、NAFIC(注)における「食」と「農」の担い手の育成		
農・畜産・水産業経営に意欲ある担い手の育成・確保	経営の複合化・多角化・法人化への支援、女性の農業参入の促進、多様な担い手の育成		
農地マネジメントの推進と農地の有効活用への支援	担い手農家への農地のマッチング支援、高収益作物作付の推進		
農地マネジメントと連携した農業基盤整備	農業水利施設の計画的な維持・修繕・更新の実施		

(注)NAFIC…NARA Agriculture and Food International College (奈良県立なら食と農の魅力創造国際大学校)の略



パソコンを使用した新規就農者向け経営研修(桜井市)



NAFICアグリマネジメント学科での農業実習(桜井市)



戦略4

地域資源を活用した農村地域の活性化を図ります。

● 主担当課：農林部 農村振興課

◆ 戦略目標

地域づくり協議会へ参加する集落数

17集落

平成26(2014)年度

目標

25集落

平成31(2019)年度

有害獣であるニホンジカの年間捕獲数

2,831頭

平成18(2006)年度

目標

10,000頭

平成32(2020)年度

◆ 主な取組

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
地域資源(農地や風景)の 保全と賑わいの創出	地域資源の維持・活用(農村地域づくり)への支援、 「食」と「農」を活かした地域活性化(NAFIC周辺、「ぐるっとオーベルジュ」)		
総合的な鳥獣被害防止対策 の推進	地域ぐるみでの被害防止対策の実施、侵入防止柵の設置、「ならジビエ」の消費拡大		



地域づくり協議会による農業体験イベント(桜井市)



地域ぐるみで設置した侵入防止柵の管理点検(奈良市)